

週間漁海況情報 2023年第37号

令和5年9月12日発行

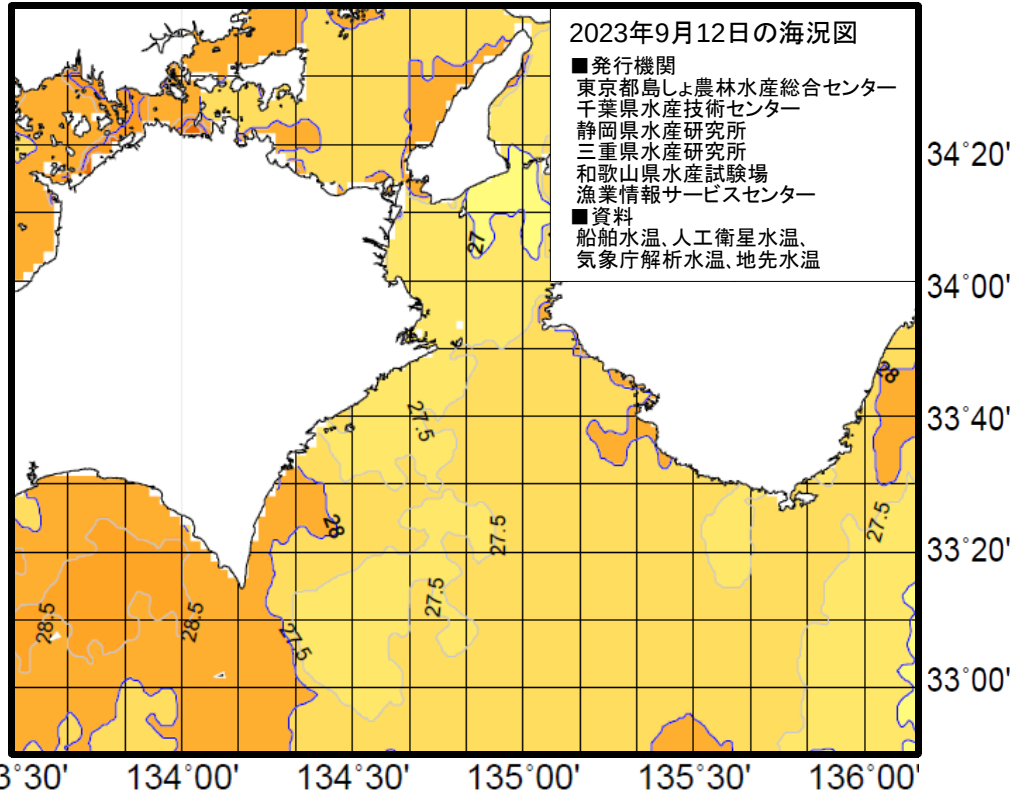
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖52マイル付近、潮岬沖136マイル付近を流れ、室戸で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。黒潮は大蛇行で東へ流れる本流とは別に分枝流が紀伊半島沖を南西に向かって流れ、室戸岬沖で本流と合流している。

黒潮の表面水温は28℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸とも27℃台となっている。周辺海域の水温差は非常に小さい。

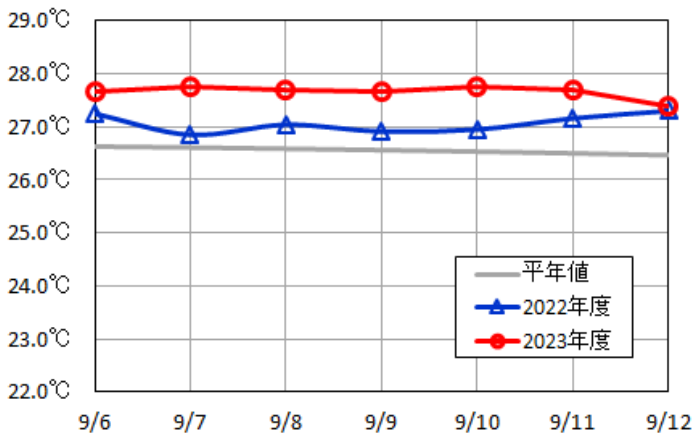


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

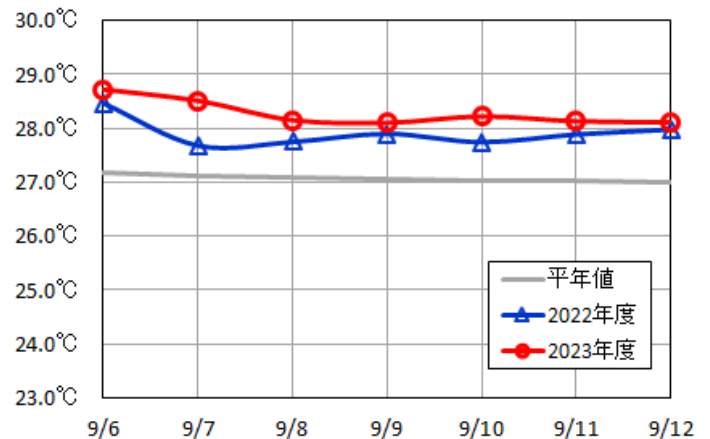
2. 地先水温(9月6日~9月12日)

鳴門地区の水温は、27.4~27.7℃で「やや高め」、浅川地区は、28.1~28.7℃で「高め」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.4~1.0℃で、先週と比べて狭まった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月13日~9月19日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」して推移する見込み。
 地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (9月4日～9月10日)

1. 紀伊水道 (標本漁協 : 5)

船びき網では、シラスが減って35.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に2.1ト、サワラが0.3ト、あまだい類が大きく減って0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マルアジが大きく増えて小主体に1.9ト、マアジが増えて豆あじ主体に1.6ト、ブリが大きく減ってつばす級主体に1ト、ふえふきだい類が大きく減って大主体に0.2ト、マダイが小主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に3.4ト、えそ類が大きく増えて1.4ト、いとより類が大きく増えて0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協 : 4)

釣りでは、キハダが増えて0.7ト、ビンナガが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が減って0.7ト、マルソウダが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	44	シラス	35,100	798		↘
	延縄	24	ハモ	2,135	89	中主体	↘
		12	サワラ	315	26		→
		17	あまだい類	104	6		↘↘
		15	マルアジ	1,938	129	小主体	↗↗
	小型定置網	15	マアジ	1,624	108	豆あじ主体	↗
		9	ブリ	1,002	111	つばす級主体	↘↘
		11	ふえふきだい類	235	21	大主体	↘↘
		14	マダイ	132	9	小主体	→
		22	ハモ	3,394	154	中主体	→
	底びき網	20	えそ類	1,414	71		↗↗
		10	いとより類	107	11		↗↗
		6	キハダ	661	110		↗
海部沿岸	釣り	5	ビンナガ	260	52		↗↗
		17	アカムツ	277	16		→
	小型定置網	11	かます類	669	61		↘
		2	マルソウダ	185	92		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘